

10th ベスト・オブ・田中彩子

この時を皆様とご一緒できる事は、これ以上ない幸せです。

どの年のコンサートを思い出しても、

本当にかげがえのない時間でした。

今回のプログラムはこれまで共に成長してきた歌と、

新しいこれからの10年に向けての歌を混ぜたプログラムです。

いつもプログラムにはテーマを決めていて、

今年は何にしようかなと色々考えたのですが、

過ぎ去った10年間に思いを馳せながら、

私との時が皆様にとって

少しばかりの心穏やかな時間になればと願って選曲しました。

田中彩子 (ソプラノ) *Ayako Tanaka, soprano*

18歳で単身ウィーンに留学。22歳でスイスベルン州立歌劇場にて同劇場日本人初かつ史上最年少でソリスト・デビューを飾る。その後ウィーン、パリ、ロンドン等、国内外問わずグローバルな活動を続けている。エステバン・ベンセクリが彼女の声をもとに作曲した「コロラトゥーラ・ソプラノとオーケストラのための5つのサークルソング」でアルゼンチン最優秀初演賞を受賞。同アルバムは英国BBCクラシック専門音楽誌にて5つ星に評された。

日本でも2014年のデビュー以来、国内での演奏活動を重ね、MBS「情熱大陸」やNHK BS「ザ・ヒューマン」などのメディアにも多数出演。また、日本シリーズやボクシング世界タイトルマッチ、世界バレーなどで国歌独唱を務めるなど幅広く活躍している。

UNESCOやオーストリア政府の後援によりウィーンで開催されている「国際青少年フェスティバル」への特別参加や、アルゼンチン政府が支援し、様々な人種や家庭環境で育った青少年に音楽を通して教育を施す目的で設立されたアルゼンチン国立青少年オーケストラとも共演、支援するなど、社会貢献活動にも携わっている。2019年 Newsweek誌「世界が尊敬する日本人100」に選出。京都府あけぼの賞受賞。

様々な環境に置かれる子ども達に音楽を通じた教育プログラムを考えていく一般社団法人 Japan MEP/代表理事、エルシステマ舞鶴子どもコーラス特別顧問、学校法人AICJ 鷗州学園理事長。



AYAKO TANAKA

佐藤卓史 (ピアノ) *Takashi Sato, piano*

高校在学中の2001年、日本音楽コンクールで第1位。東京藝術大学を首席で卒業後渡欧、ハノーファー音楽演劇大学ならびにウィーン国立音楽大学で研鑽を積む。その間、2007年シューベルト国際コンクール第1位、2010年エリザベート王妃国際コンクール入賞、2011年カントゥ国際コンクール第1位など受賞多数。N響、東響、日本フィル、大阪響、広島響、ベルギー国立管などと共演。2014年よりシューベルトのピアノ曲全曲演奏プロジェクト「佐藤卓史シューベルトツィクルス」を展開中。

市寛也 (チェロ) *Hiroya Ichi, cello*

東京藝術大学音楽学部を経て同大学院修士課程修了。同声会賞受賞。リゾナーレ室内楽セミナーにて基金「緑の風」音楽賞を受賞。松尾学術振興財団より助成金を授与。アフィニス文化財団より奨学金を受けドイツ・ミュンヘンへ留学。東京・春・音楽祭、北九州国際音楽祭などに出演のほか、別府アルゲリッチ音楽祭にてマルタ・アルゲリッチ、ミッシェル・マイスキー両氏と室内楽で共演。チェロクアルテット「Quartet Exploce」メンバー。NHK-FMに出演。アフィニス文化財団や文化庁の助成金を受ける。東京ジュニアオーケストラソサエティ講師。現在NHK交響楽団チェロ奏者。